

鳥取市民まちづくりワークショップ 開催結果

令和2年2月

目 次

I. 実施概要	1
1. 目的.....	1
2. 開催概要・結果.....	1
II. 各テーブルの主な意見と当日の様子.....	2
1. 第1テーブル.....	2
2. 第2テーブル.....	4
3. 第3テーブル.....	7
4. 第4テーブル.....	10
5. 第5テーブル.....	12
6. 第6テーブル.....	15
7. 第7テーブル.....	18
III. 参加者の感想・意見	21

I. 実施概要

1. 目的

次期鳥取市総合計画の策定にあたり、市民から鳥取市の魅力や課題、将来のまちづくりに関する意見を聴取し、基礎資料とすることを目的として実施した。

2. 開催概要・結果

(1) 日にち・場所

開催日時：令和2年1月26日（日） 13時30分～16時00分

場 所：鳥取市役所 鳥取市民交流センター 2階 多目的室

(2) 参加者

33人

(3) 実施方法

市民から多様な意見を収集するため、発言機会が多いグループ討議を行なった。詳細は以下のとおりである。

項 目	内 容
話し合いの内容 (議題)	テーマ① 鳥取市の魅力と課題 テーマ② 鳥取市の理想像（未来の姿） テーマ③ 理想像を実現するために
話し合いの形式	・グループ討議。 ・模造紙を活用し、多様な意見を書き出し、グルーピングしながら情報を整理した。 ・全体進行はファシリテーターが行なった。
グループの形態	・参加者4～5名ごとに1テーブルとし、7テーブルを設けた。

Ⅱ. 各テーブルの主な意見と討議の様子

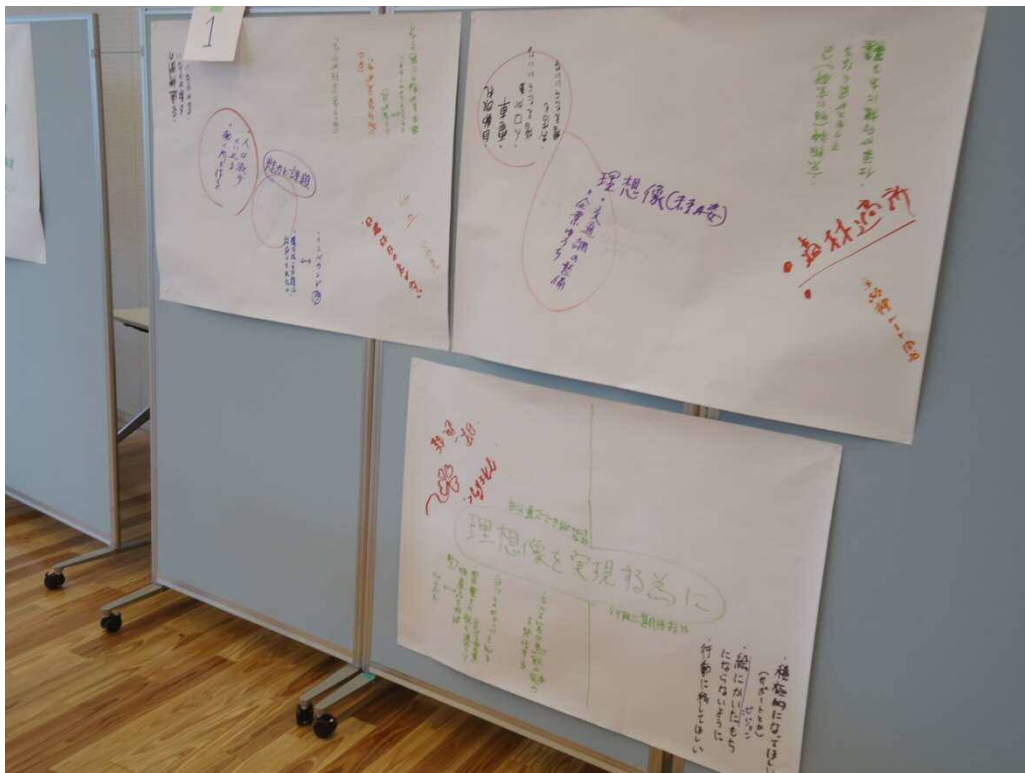
各テーブルで発表した意見を取りまとめるとともに、グループ討議の様子（書き込まれた模造紙）の情報を以下の通り整理・掲載する。

1. 第1テーブル

分類	意見概要
魅力と課題	<ul style="list-style-type: none">・課題として、人口減少が進んでいる。また、高所得で働ける場所（企業）が少ないという意見があった。・観光資源は多いが、活用が進んでいない。山や海へのアクセスが良く、できることが沢山あるが。・公共交通の整備が進んでいない（例：鳥取駅が自動改札ではないことに驚く。高速バスは、大阪方面は本数があるが、京都方面へのアクセスが良くない）。
理想像	<ul style="list-style-type: none">・自分たちでできる事としては、スマホや SNS を活用して情報をアップする。その際、鳥取市と他地域との違い、ギャップを知っておくことが大事。鳥取市では当たり前だが、他地域で有り得ないほど恵まれた環境があり、魅力を感じる人がいると思われる（例：親ガニが 300 円で買える）。・他地域との違いを活かしながら情報発信を行なうことも重要（例：季節ごとに鳥取市の旬はカニ、他の地域は何か）。・農業の振興で新しい特産品をつくる。若手が農業に取り組み、食べていこうと思えるような支援が期待される。農産物のブランド化も行なわれているが、加工品を工夫することで付加価値が高まり価格や利益も高められる。
行政へのお願い	<ul style="list-style-type: none">・既存の補助金や助成金は充実して 10 次総合計画も整備されているが、市民に伝わっていないのではないかと。・もう少し踏み込んで、地域で取り組もうとする人に補助金の使い方や支援等のフォローや案内をして欲しい。

グループ討議の様子

①鳥取市の魅力と課題	
<p>【魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 山・川・海が近く、自然が多い。アウトドア・レジャーに行き易い。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市（行政）は観光に力を入れる事 ● 人口減少をくいとめる。 ● 働くところを作る。最低賃金が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ● インバウンド観光客が多いが、様々な言語に対応し切れない。 ● 日曜が定休日の店舗が多い。 ● 食事をする場所が少ない。 ● 市民が魅力に無頓着。 ● 交通機関の本数が少ない。
②鳥取市の理想像（未来の姿）	
<ul style="list-style-type: none"> ● 交通網の整備 ● 企業誘致 ● 適材適所 ● 京阪神（特に京都）へのアクセスが良くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 仕事が多様にある未来 ● 鳥取駅の自動改札、電車の運行。 ● 人口が増加する。店舗が増える。
③理想像を実現するために	
<p>【自分達で取組むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● SNS 等で鳥取市の魅力を発信する。 ● 他の地域とのギャップを知る。 ● 農業を力強く進める（稼げる農業） ● 新しい特産品や加工品を作る。 ● タネを撒く。 	<p>【行政に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サポートに積極的になって欲しい。 ● ビジョンが絵に描いた餅にならないよう行動に移して欲しい。



2. 第2テーブル

分類	意見概要
魅力と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市の魅力については、鳥取市は日常的な生活が暮らし易い。 ・大きなイベントを行なうよりも、日常的な情報を発信し続けることが必要という意見が出た。人との関わりも魅力で、市外や県外に出てしまっても、関わる機会があることを意識する。
理想像	<ul style="list-style-type: none"> ・「日常的な暮らし易さ、余暇のメリハリがある」。 ・車で30分圏内に、山・川・海があり食べ物も美味しく、色々なものがそろっている。 ・大阪、東京にもアクセスが良く、関係人口が増えることが理想。
行政へのお願い	<ul style="list-style-type: none"> ・行政には、街の整備をお願いしたい。中心市街地の活性化が求められるなか、新市庁舎が駅の南側に立地したことから、このエリアは働く人が集まるような新市街になりうる可能性がある。また、旧市街は鳥取城を中心に、趣のあるまちづくりができる。空き家も多いため、人が住むような場所になるための整備が期待される。 ・市内には、日本の桜百選（袋川周辺）、日本の城百選（鳥取城）、日本の道百選（若桜街道・本通り）など、百選に3つも選ばれるエリアがある。袋川の川べりを歩けるような整備をする。 ・中心部付近に大きな駐車場を整備し、「くる梨」などを利用して移動し歩ける街にする。 ・アートな活動もできる、オープンなまちづくり。

グループ討議の様子

①鳥取市の魅力と課題	
<p>【魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自転車で移動中に車が避けてくれる。 ● 居心地がよい。 ● ありのままの味覚。 ● 文化 ● 待機児童ゼロ ● 空気が穏やか ● 20分前に空港に行けば、飛行機に乗れる。 ● 日常生活しやすい。 ● 適度。 ● 海・山・川まで30分以内で行ける。 ● 関西に行き易い。 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運転は荒い。 ● 居心地は良いが、何も無い。 ● バスの終バスが早い。 ● 県外から来た人をもてなす店が少ない。 ● くるりバスのトランスファーを。
②鳥取市の理想像（未来の姿）	
<ul style="list-style-type: none"> ● 日常の暮らし易さ、余暇とのメリハリがある。 ● 奥ゆかしさと発信力の弱さ。 ● 人を増やしたい（関係人口）。 ● 図書館を充実させて欲しい（開館時間の延長：鳥取環境大は19時）。 	<ul style="list-style-type: none"> ● チャレンジを継続・発展する。 ● アートの街、チャレンジする人の多い街。 ● 住んでみて分かる。 ● 今がちょうどいい。 ● 文化に触れる→できる場所はある
③理想像を実現するために	
<p>【自分達で取組むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ①日常的なコトをSNSで発信。人の流れを変える。人が交わる基盤をつくる→刺激。／意識づけ→チャレンジをためらわない（行政は応援して欲しい）。 ● 中心部近くに大きな駐車場をつくる。100バス（くる梨）、タクシーでの移動を便利にする。 	<p>【行政に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● インフルエンサーをバレないように応援する。（鳥取市の）ファンになってもらう。人を目掛けて（鳥取市に）くるように。 ● 街の整備。 ● 袋川の川べりを歩けるようにする。 ● 新市街地と旧市街地で目的を分ける。

3. 第3テーブル

分類	意見概要
魅力と課題	<p><魅力></p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行者にとっての魅力は、温泉、砂丘、自然が豊富で食べ物が美味しい。 ・市民にとっての魅力は、物価が安い、温泉が多い。若者（学生）が好む個人経営のカフェが多い。子育て世代にとっては無料で遊ばせる場所、公園も多い。待機児童の問題もなく、総じて子育てがしやすい。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通が不便で駐車場がわかりにくい等、日常的に市民が移動しにくい。 ・近隣の郡部では小さなイベントが多数行なわれているが、鳥取市は少ない。 ・市内に集う、遊びに行く機会が少ない。
理想像	<ul style="list-style-type: none"> ・「鳥取市全体が大きな公園になる（歩いてみたくなる街をめざそう）」という考えにまとまった。鳥取市は山に囲まれているが、街なかに木が少ない。中心部から店舗やカフェへの移動にレンタルサイクルも充実させ、各地のイベントにも参加できる。このような環境は、外国人観光客にとっても非常に魅力的である。
理想像を実現するため	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、市民が自ら街へ出て歩いてみよう。駐車場もわかりにくく、中心市街地にある魅力的な店も十分に認知されていない。車を使わず、公共交通を使い歩くことで、色々な気付きが得られる。少しずつ使う事で公共交通へのニーズも出て整備・充実につながる。
行政へのお願い	<ul style="list-style-type: none"> ・シャッター街の店舗や空き家を活用して、チャレンジショップ等に取り組む際、貸し手との交渉等を行政に担って欲しい。 ・意欲ある人が短期間でも店舗を出店できる、バックアップがありチャレンジができる、失敗してもOKな街にする。行政と組んでクラウドファンディングを活用する等のリスクを抑え、顧客を集める取組を行なう。

グループ討議の様子

①鳥取市の魅力と課題	
<p>【魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 物価が安い（野菜、魚）。 ● 自然（山、海）、空港が近い。公園までは車が中心。 ● 個人カフェが多い→SNS（twitter、インスタ）を活用。 ● 温泉が多い。 ● 子供の施設が多い。 ● ストレスが少ない（人が少ない）。 ● Iターン者が多い（でも鳥取市を離れているケースもある） 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● バスの本数が少なく、車を持たないと厳しい。（レンタサイクルで返却場所を増やしてみてもどうか） ● 鳥取砂丘はあるが、施設が少ない。アクセスできるバスが少ない。倉吉や若桜町などの郡部ではイベントが多い。 ● 農業がもっと栄えても良い（米以外にも）。 ● 旅行者は生活習慣が見たいのではないか。
②鳥取市の理想像（未来の姿）	
<ul style="list-style-type: none"> ● 市民以外も起業がしやすいまち！（例：カフェ通りをつくる） ● 駐車場もあつたらよい。 ● 健康になるまち！というコンセプト 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「鳥取市が公園になりました！」：ニューヨークのセントラルパーク、仙台（杜の都）のような街→都市部にも、きれいな緑を（整備）！ ● 地球に優しいまち！（湖山池を活用してはどうか）
③理想像を実現するために	
<p>【自分達で取組むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 週に1回、街なかに歩いて出してみる！（歩き、自転車など車以外の移動手段で）→歩き回りたいまちをめざす（森の中にあるようなまち）→バスを使う（定額制） <p style="margin-left: 20px;">例：1）イベントで賑わい</p> <p style="margin-left: 40px;">2）立ち寄れる場所（カフェ、チャレンジシヨップの強化）</p> <p style="margin-left: 40px;">→クラウドファンディング活用等で短期間でも、失敗しても良い仕組み。</p> <p style="margin-left: 20px;">3）地産地消</p> <p style="margin-left: 20px;">4）駐車場を増やして欲しい（鳥取駅周辺）。</p>	<p>【行政に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● おしゃれな街路樹を作ってほしい（鳥取駅前、柳の木のような植栽は気味が悪く感じられる） ● 空き家を目一杯に使おう！（市は借り手を増やして欲しい）

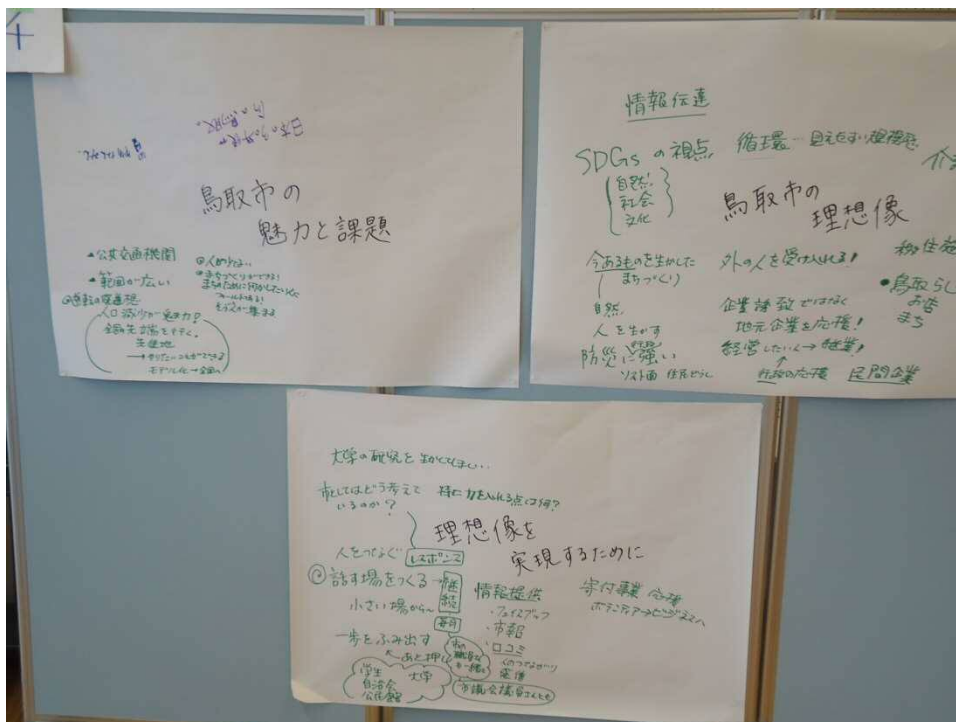


4. 第4テーブル

分類	意見概要
魅力と課題	<ul style="list-style-type: none">・Uターン、Iターンが2人ずつのグループであった。・人口減少（人が少ないこと）が欠点ではなく、魅力に感じているという意見が多かった。・鳥取市は、全国の人口減少の最先端にあり、この状況・フィールドに対して何か取り組みたい人が集まってきている。
理想像	<ul style="list-style-type: none">・人が少なく自然が豊かという姿を活かした鳥取らしいまちづくりをしていく。SDGsの視点で、持続可能で循環型のまちづくりをしていくことが理想像と考えた。
理想像を実現するため	<ul style="list-style-type: none">・取組としては、今回のような場がとても良かった。市職員、市議会議員も加わる形で是非とも継続して欲しい。

グループ討議の様子

①鳥取市の魅力と課題	
<p>【魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人が少ない。 ● まちづくりができる。まちのために何かしたい人にフィールドがある。そういう人が集まる。 ● 逆転の発想で人口減少が魅力！といえる。全国の先端を行っている。先進地としてやりたいことができる。モデル化して全国へ広げる。 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通機関が不十分。 ● 買い物難民。 ● 範囲が広い。 ● 今の鳥取市は、全国の30年後の姿。
②鳥取市の理想像（未来の姿）	
<ul style="list-style-type: none"> ● SDGsの視点（自然、社会、文化） ● 循環…見え易い規模感 ● 自然など今あるものを生かしたまちづくり。人を生かす。防災に強い行政、ソフト面は住民同士で。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 外の人を受入れる。移住施策。 ● 企業誘致ではなく、地元企業を応援。経営したい人を行政の応援で「継業」 ● 鳥取市らしいお店、まち。
③理想像を実現するために	
<ul style="list-style-type: none"> ● 大学の研究を生かして欲しい。 ● 市としてはどう考えているのか。特に力を入れる点は何か。 ● 情報提供（フェイスブック、市報、口コミ（人のつながり・発信） ● 寄付事業・応援、ボランティア→ビジネスへ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人をつなぐ。小さい場から、話す場をつくる（市職員、市議会議員さんも一緒に）。一步を踏み出す後押し（学生、自治会、公民館、大学など）。毎月、継続をしていく。



5. 第5テーブル

分類	意見概要
魅力と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・メンバーに市外に住んでいた人が多い。外からみてデメリットに見えることがメリットに見えることが共通している。 ・何かに挑戦したいときに、顕在化していないチャンスが鳥取市にはあるということも挙げられた。 ・子供を持つ人から、子育てがしやすいという声があった。 ・課題としては抽象的だが、何かをしたいと思ったとき、どこでどのように出来るのかが見えにくいという意見もあった。
理想像	<ul style="list-style-type: none"> ・「やりたい事が出来る鳥取市」という理想像にまとまった。仕事での自己実現はもちろんだが、「暮らしの時間」という考えで家庭（オフ）の時間でやりたい事ができる生活が理想的という意見が出た。 ・主に大人を対象とした理想像だが、大人が自分のやりたい事を見つけて頑張っている姿勢は、それを見る子供達の鑑であり、子供達の自信につながる。
理想像を実現するため	<ul style="list-style-type: none"> ・市民は資格を持った個性のある色々な人がいて挑戦しやすく動き易い。行政は、補助金など金銭面での支援ができる。それぞれ得意な分野で協働して進めていく体制が整うことで、市民が好きなこと・やりたいことを見つけ実現できる環境ができるのではないか。

グループ討議の様子

①鳥取市の魅力と課題	
<p>【魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鳥取市の夜景。 ● 湖山の賑わい。 ● 行商（賀露から80歳のおばあさんが魚を売りに来ている）。 ● 時間を変えると見える。 ● 妊活など子育てしやすい、女性にやさしい。 ● 隠れている魅力が多いかもしれない。穴場スポットがある。これから磨きがいのあるモノがたくさんある。 ● チャンスが転がっている。 ● ハードルは低く。 ● いろんなことに挑戦しやすい。 ● 人が少ない所が多い。メリハリが作り易い。 ● 落ち着く場所。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 田舎っぽいところ。 ● 面白い人が多い。 ● したいことができる。 ● 人が少ない魅力。 ● 車の乗り合い。 ● 市外へ出て分かる市の魅力。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者に優しくない。 ● 「ココに行けばコレがある」が見えにくい。 ● ヨソ者に対しての市民の姿勢。 ● 中心地が盛んでない。 ● 学生の居場所（子ども食堂、小中高の勉強する場）。
②鳥取市の理想像（未来の姿）	
<ul style="list-style-type: none"> ● 子供たちだけで安心して遊べる場。 ● やりたい事ができる・叶う鳥取市。 ● 家族でフラッと行ける場所。 ● チョイスを増やす。 ● 中途半端な育てる施設が多い。 ● 家族の中でできる事。昔ながらの生活。暮らしの時間が大切にできる鳥取。 ● 地域コミュニティがしっかりとした鳥取。 ● 誇り→理想 ● 魅力的な大人、大人のがんばり、カッコいい大人 ● 素材は色々ある。流通に乗らないもの。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 働くところが少ない。 ● 子供達が誇りを持てる市。→大人が挑戦する姿勢（カッコいい大人）を見て。 ● やりたいことをしている。挑戦できている。 ● 暮らしの時間→自己実現、誇りを作る。 ● 暮らしの提案 ● 人と人の関わりしろ（駄菓子屋さんなど）。防犯に役立つ。 ● 「したいこと＝できる場所」のイメージがつく。 ● 行政のバックアップ。 ● 便利なのもよし悪し。 ● 街なか加工場
③理想像を実現するために	
<ul style="list-style-type: none"> ● 豊かな暮らし。地元でつくる物、食料。 ● 魅力の発信。行動を起こす。地域連携・社会連携（皆でやろう） ● 鳥取市民ファースト。 ● 農業、食品、製品の総合ホームページ（Amazon版 sakyu） ● 農業、農産物等のPR（自然資源、水・土などの活用） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1人1人が暮らしを見直してみる。 ● 行政の役割（実際に動く市民と人材を組み合わせるバックアップ、場所づくり。コーディネーター配置。市民間分業） ● 外で遊べる。 ● 「いいもの」、「いい人」を「いいね」と発信する。 ● 若い子の集まる場、人が集まる場をつくる。

6. 第6テーブル

分類	意見概要
魅力と課題	<p><魅力></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥取市は魚、らっきょうや梨等の農産物があり、自然の豊かさがある。 ・ 田舎の美しい風景が鳥取の魅力である。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥取砂丘等に行く際の公共交通が不十分。 ・ 鳥取市に色々な魅力があるものの、情報の発信力が弱い。
理想像	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥取市の魅力を国内外に発信していくこと。 ・ 斬新な発想を実現する（市内の駅・空港・港・砂丘を結ぶ路面電車の整備、東京・大阪で鳥取市直営の居酒屋を開設し食材・料理をアピール）。
理想像を実現するため	<ul style="list-style-type: none"> ・ このようなワークショップの場を通じて、市民の斬新な発想に関して、市民と行政が意見を出し合い、実現に向けた取組を行なうこと。

グループ討議の様子

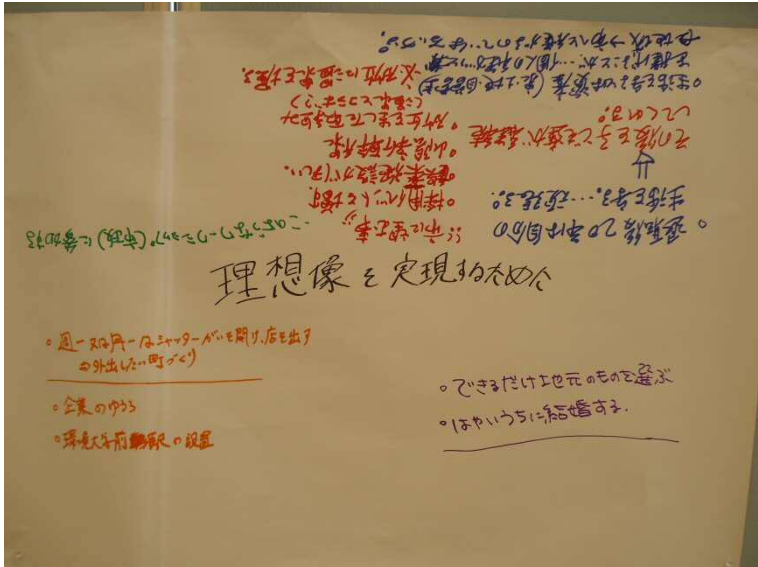
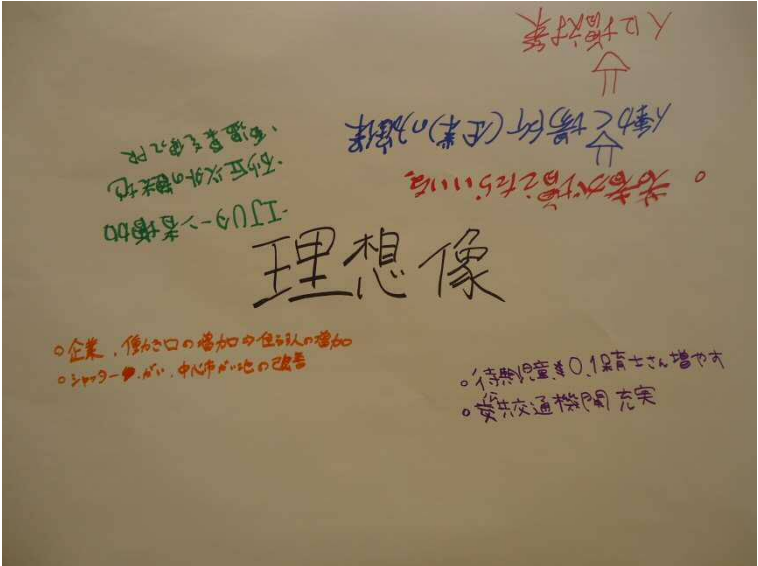
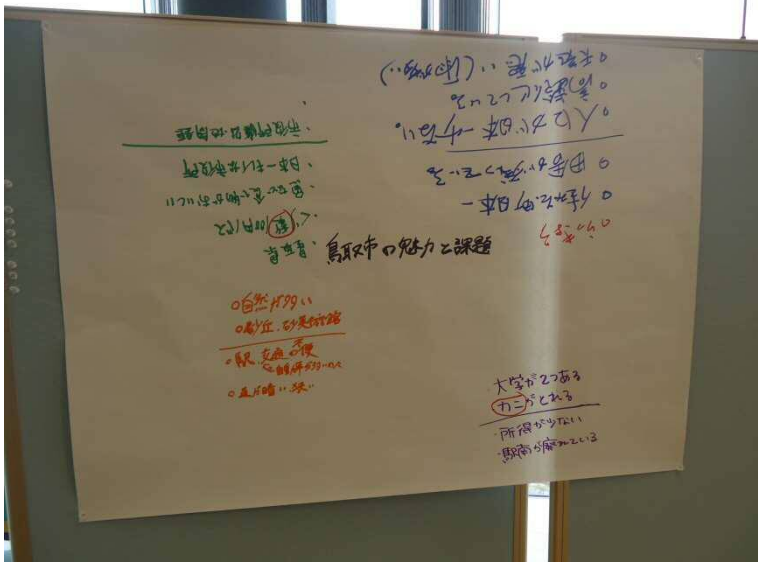
①鳥取市の魅力と課題	
<p>【魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 古い日本の風景が残っている。 ● 海がある。魚が美味しい。 ● 山がある。スキーができる。 ● 自然が豊か。 ● ジビエ、古民家利用。 ● 砂丘がある（夜なども活用） 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 遊ぶところがない。 ● 発信力の弱さ。 ● 閉店時間が早い（最終バスの時間も早い）。 ● 交通アクセスが悪い。
②鳥取市の理想像（未来の姿）	
<ul style="list-style-type: none"> ● 斬新な発想を実現できる。 ● 魅力を外国、都市部にどんどん発信する。田舎の良さをもっと全国にアピールする（鳥取市のきこ）。 	<ul style="list-style-type: none"> ● いつも話題になる市をめざす。誰もが知っている有名な都市になる。 ● ブランドが多い農業、漁業大国。 ● 今出ている課題が解決されている。 ● 幸福度が高い。
③理想像を実現するために	
<ul style="list-style-type: none"> ● 県外の友達に、鳥取市の魅力を発信。 ● 給料（所得）ナンバー1の都市にする。 ● 鳥取市直営の居酒屋チェーンをつくり、産直品・観光地をPR ● 鳥取駅・鳥取空港・賀露港・鳥取砂丘を路面電車でつなぐ。 ● 大阪 FM802 を1日だけ買い取って宣伝し集客する。 ● ジビエ100%都市、市営の解体施設。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 鳥取市の良さをSNSなどでアピールする。 ● 暮らし続ける。 ● 行政と住民が一緒にまちづくりについて議論する。 ● 企業をレベルアップし、地元就業につなげる。集客にも。 ● 経営の勉強をさせてほしい（店が続かないところが多いので）。 ● 情報を分かり易く公開。

7. 第7テーブル

分類	意見概要
魅力と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力としては、自然が豊かで住みやすい（住みたい田舎ランキングで上位）、きれいな市役所がある等の意見が出た。 ・課題としては、人口が少なく高齢化している。駅周辺の中心市街地の元気がないなどの意見が出た。
理想像	<ul style="list-style-type: none"> ・子供やI J Uターンが増加すること。企業、働く場所が増えると良い。 ・中心市街地のシャッター街が活気のある場所になること。交通弱者が日常生活で困らないような近代的な公共交通が充実すること。
理想像を実現するため	<ul style="list-style-type: none"> ・このようなワークショップを開催して参加する、シャッター街を使って学生が店舗を出すなどの取組で街に若者が集うような環境づくりが考えられる。 ・「地元愛」、「郷土愛」を醸成するため行政と連携して取り組む。 ・公共交通については、公共交通（100円バス・くる梨等）の割引制度があると良いのではないかと。 ・将来的な話として、山陰新幹線整備、砂丘に次ぐ観光地、温泉や地熱エネルギーを活用して温泉地を活性化する等の意見があった。

グループ討議の様子

①鳥取市の魅力と課題	
<p>【魅力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自然が多い。 ● 砂丘があり、砂の美術館がある。 ● 大学が市内に2つある。 ● カニが獲れる。 ● らっきょう。 ● 住みたい町（ランキング）日本一 ● 田舎が残っている。 ● 星取県 ● くる梨 100 円バス。 ● 魚など食べ物が美味しい。 ● 日本一キレイな市役所（新庁舎）。 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 駅、自動車が多いのに交通の便が悪い。 ● 道が暗く狭い。 ● 所得が少ない。 ● 鳥取駅南が寂れている。 ● 人口が日本一少ない。 ● 高齢化している。 ● 天候が悪い（雨が多い）。 ● 市役所跡地の問題
②鳥取市の理想像（未来の姿）	
<ul style="list-style-type: none"> ● 企業、働き口の増加→市で暮らす人の増加 ● 若者が増えたらいいな→働く場所（企業）の確保 →人口増加策 ● シャッター街、中心市街地の改善。 ● 保育士さんを増やし、待機児童ゼロ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通機関の充実。 ● I U J ターン者の増加。 ● 砂丘以外の観光地づくり。 ● 温泉を使って P R。
③理想像を実現するために	
<p>【自分達で取組むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 週1回、または月1回はシャッター街を開け、店を出す→外出したくなるまちづくり。 ● できるだけ地元のもとを選ぶ。 ● 早いうち（若いとき）に結婚する。 ● 退職後 20 年は自分の生活を守る（頑張る）→その後、子供達が継続してくれる。生活を守るとは資産（家・土地・自営業等）をつなげることが（個人の継承）→地域→市へと繋がるのではないか。 ● このようなワークショップ（市政）に参加する。 	<p>【行政に期待すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 企業の誘致。 ● 鳥取観光大学前駅の設置。 ● 採用イベントを増やす。 ● 娯楽施設が欲しい。 ● 山陰新幹線。 ● 砂丘を活かした取組み（温泉とコラボ）。砂丘に温泉を掘る。

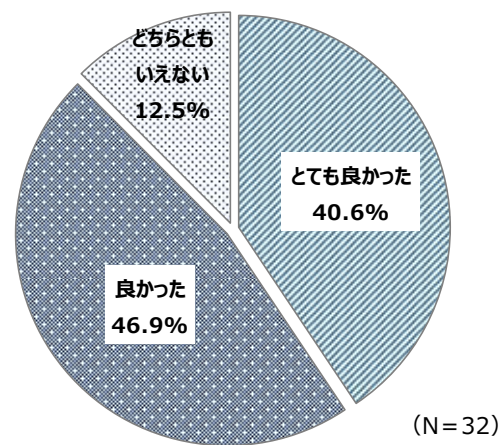


Ⅲ. 参加者の感想・意見

ワークショップ参加者にアンケートを実施し、結果は以下の通りとなった。

1. 本日のワークショップの印象について

ワークショップの印象について、5段階（とても良かった～良くなかった）で尋ねたところ、「とても良かった」と「よかった」を合わせて8割以上（87.5%）が良い印象を持っている。



2. 本日のワークショップへの意見・感想

- 世代、性別、社会人、学生を越えて、鳥取市について話し合える機会はなかなか無いので、本日のワークショップそのものが、意義があったと思います。
- 年齢を問わず、沢山の意見や、想いが聞けて、とても面白かった。継続的に行われると良いと思います。
- 自分と近い年齢層の人たちだけでなく、様々な年代の意見が聞けて、とても良かった。鳥取の現状について、知ることができてよかった。
- 鳥取市をよくする、したいという意識が、自分のものになりました。行政にお任せではなく、自分の街という気持ちになりました。これからもワークショップをやってください。
- 楽しかったです。次回待ってます。
- 知らない人との会話でも、気持ちが良くわかり、今後につなげてほしい。
- 自由な意見が多く出て、自分では思いつかないアイデア等も聞くことができ、有意義な時間になりました。今日集まれた方が、皆さん真剣に鳥取市のことを考えておられ、うれしく思いました。
- いろいろな人が集まっていて（世代、立場など）話していてとても新鮮だったし、自分たちが知らない情報や、気づかないことが沢山あって、楽しかったです。他の班の発表でも集まる人が異なっていたので、ぜんぜん違う視点での意見で、とても学びが多かったです。鳥取市が、より良く楽しい街になりそうな感覚になって嬉しかったです。
- 今後もこのような機会を作ってほしい。
- 年齢に関係なく、またIターンUターンの人達の鳥取市への思い、感じ方等を意見交換でき大変よかった。この多くの意見を「まちづくり」に活かしていただきたいと思う。
- とても充実した時間でした。また継続して開催していただきたいです。
- 鳥取市の未来について、真剣に考えていらっしゃる方々と知り合えたことが、とても嬉しいです。
- 「交流できる」初めてあった人と、市について語れる機会を頂きました。またここから、新たなコトが個人間で生まれそうです。日頃から鳥取市を応援し、誇れる街をつくりたい、という人が沢山いることを知りました。これからも1か月に1回はこのような場を作ってください。
- 議題が意外に難しい。
- 初めて会う人とワークショップを通して、意見を伺うことができ刺激を受け、新しい発想が出ました。
- いろいろな話ができ、少しでも前進するよう願います。良いもんでした。
- 皆さんと想いが同じことが多くあり、楽しかったです。鳥取愛一杯でした。
- 現状の鳥取市の資料を配布し、認識があった方が意見の出方が違ったのでは？。「鳥取の魅力は…」は、県外から来た人の見方が違うね！地元ばかりいると見識が狭いと思った。
- いろいろと意見が出てよかったです。

- テーマが幅広であるので、若干の前提条件あるいは議題を絞った方が良かったような気がします。また、今日の内容を今後どのように反映等していくのか、不透明な気がします。
- どのグループもよくしようと、アイデアを出していた。少しずつ方向性、考えも異なっていて、いいワークショップだったと思う。
- 多種多様な年齢や、仕事されている方と、鳥取市のまちづくりについて考えることができてよかった。
- 市民が鳥取市のために意見を出せる場というのは、とても貴重なものだと思います。様々な意見が聞けて、有意義でした。
- 定期的な開催を希望します。
- とても良い機会であったと思っています。私自身学生であるので、社会人の方と対話することは新鮮で、私個人にとっても、良い経験の場になりました。また、第11次総合計画に向けての開催との事ですが、個別の政策提言への着目ではなく、各グループのニュアンスを是非反映させて下さい。また、鳥取市の魅力や可能性についても、再度知る良い機会になりました。
- 様々な世代の方の意見を聞くことができ、良かったです。
- 総合計画の参考との事でしたが、計画の発表があり、それに対するワークショップだと良かったと思います。
- いろいろな人の意見が聞けて、参考になりました。コーディネーターさんがいて下さることで、もっと深く意見交換ができたように思います。やったことで満足するのではなく、今回出た意見から市は改善策を出し、実行してほしいと思います。
- 話す人と、話さない人のアイデアの出具合が違うので、一回は自分の意見を話す機会を設けるといいと思います。
- 定期的にこの会を開いていただければと思います。
- 事前に「テーマ」とその資料を送付してください。でないと中途半端なワークショップになる。参加された人達は「市を良くしたい」という方々ではないか、皆様が真面目に努めていたようだ。
- グループメンバー交代もしてみたかった。時間足りない。議員にオブザーバー（発言をしない）として参加してほしい。
- 内容が自由すぎて、話している意味があるのかわからなかった。ジャンルを指定して開催したほうが、問題意識を持つ人が集まるのでは。ブレスト形式で意見を集めただけなら、ただのアンケートで十分だったと思う。

3. 今後の鳥取市政、まちづくりへの意見

- このような機会がもっとあればいいなと思う。
- いつも困った時には、助けていただいています。ありがとうございます。
- 路面電車計画、実現を／鳥取市発居酒屋チェーン店実現を／ジビエ 100%活用、市営解体施設実現を／鳥大生は市街地に啓蒙運動→シェアハウス、店の経営、どんどん発信して、有名な都市になろう。
- 今後、高齢者など多くなり、介護障がい者などにやさしいまちづくりをしてほしい。
- 今日の中で、少しでも参考になる部分が是非取り入れてほしいと思います。我々はただ意見を出すだけですが、これから実際に行政を行っていくことの大変さを知ることができました。これからも良いまちづくりをよろしく願います。
- またワークショップを開いてほしいです。その際は、鳥取市の人や県の人などにも参加してほしいです。鳥取市は過ごしやすいし、いろいろな意見を取り入れようとしていて、これからは楽しみです。
- 他人事ではなく、市民の皆さんが多く参加して自分の思いを語り合える場として、進展させていただきたい。
- 総合計画の策定まで、定期的にこのようなワークショップ、意見交換の場が必要だと思います。
- もっと鳥大生を使ってください！地域を専門的に学んでいます。プロフェッショナルが沢山います。自分たちが活動している人もいます。そこに積極的に関わってほしいです。私もその一人です。もっと行政が身近にほしいです。何も介さず、相談したいです。
- 多様な人の意見が、面白いアイデアになりうると感じましたので、気楽に多様な人が参加できる場を作ってください。
- 今後もワークショップの開催をお願いします。
- 元気な鳥取になってほしいです。
- 田舎を生かした取組み／砂丘を生かした取組み／自然を生かした取組み／人口が少ない→逆手に取って、取組みをする。
- 毎年同じような課題が出ているので、交通など JR,バスなど経営、人件費など具体的な対策を進めてほしいです。駅周辺の活性化なども。ただのバラまきなどの対策ではなく、経営指導などで、解決方法を見つけてほしいです。
- 鳥取に U ターンしてまだ 1 年も経過してませんので、次回の鳥取市総合計画（案）を読んで、パブリックコメントをさせていただきます。
- 次このようなワークショップがあるのであれば、市役所の方や、市の議員の方も交えて、一緒にまちづくりについて議論できたらいいなと思った。
- 今後も継続することと、今回の情報も公開してほしいです。また SNS にて、ワークショップのライブ配信や、SNS で意見をもらっても良いのでは。個人的には、中高生の参加があっても良いのではと思いました。

- WSで市民の雰囲気や意見を把握する手段は、とても良いと思いました。ただ、開催という事実が、成果になるのではなく、その先の過程へ進む事実が、今回の事務事業の成果として計上されることを、期待しております。
- 前向きな政策を前向きに進められるように、実際の行動を起こしてほしいです。
- 第3テーブルで、街を歩こうという意見がありましたが、広さ的に自転車の方が便利です。
- 「まちづくり」とは、市街地とその近周辺の事のように思われるが、それ以外の広大な農、中山間地域の整備とそこに住む人々の安全、安心な生活の確保に、予算を投じてほしい。
- よそもん、わかもん、ばかもんの声と、ずっと地元にいるもんの声と両方があるので、自己満にならないように拾ってください。／北口側の駐車場を共用できる姿勢で誘導してください。